



2021年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年8月3日

上場会社名 株式会社あじかん

上場取引所 東

コード番号 2907 URL <https://www.ahjikan.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 足利 恵一

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 経営管理本部長 兼 経営管理部長 (氏名) 澄田 千稔 TEL 082-277-7010

四半期報告書提出予定日 2020年8月7日

配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無： 無

四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第1四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	9,720	△9.9	△231	—	△214	—	△156	—
2020年3月期第1四半期	10,792	1.9	△16	—	△42	—	△46	—

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 △130百万円 (-%) 2020年3月期第1四半期 △67百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	△20.53	—
2020年3月期第1四半期	△6.08	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第1四半期	23,980	12,407	51.7	1,630.18
2020年3月期	24,106	12,652	52.5	1,662.36

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 12,407百万円 2020年3月期 12,652百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	0.00	—	15.00	15.00
2021年3月期	—	—	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	0.00	—	15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	20,500	△6.6	△120	—	△100	—	△100	—	△13.14
通期	43,000	△3.9	300	△59.1	350	△58.9	250	△54.6	32.85

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

連結業績予想の修正については、本日（2020年8月3日）公表いたしました「業績予想に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社 （社名）ー、除外 ー社 （社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期1Q	7,700,000株	2020年3月期	7,700,000株
② 期末自己株式数	2021年3月期1Q	89,053株	2020年3月期	89,053株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期1Q	7,610,947株	2020年3月期1Q	7,600,347株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により予想数値と大きく異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1.	当四半期決算に関する定性的情報	2
	(1) 経営成績に関する説明	2
	(2) 財政状態に関する説明	3
	(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2.	四半期連結財務諸表及び主な注記	4
	(1) 四半期連結貸借対照表	4
	(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
	四半期連結損益計算書	
	第1四半期連結累計期間	6
	四半期連結包括利益計算書	
	第1四半期連結累計期間	7
	(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
	(継続企業の前提に関する注記)	8
	(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
	(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、2020年4月に新型コロナウイルスの感染拡大に伴う緊急事態宣言が発令され、経済活動が大きく抑制された結果、個人消費や企業収益が急速に悪化するなど、極めて厳しい状況で推移いたしました。加えて、国外におきましても、新型コロナウイルス感染拡大に伴う景気の減速懸念により、金融資本市場が不安定な動きとなるなど、先行き不透明な状況で推移いたしました。

食品業界におきましては、新型コロナウイルス感染症の影響により、特に外食・仕出し・給食業態の需要が大きく減少したことに加え、緊急事態宣言が解除された2020年6月以降も個人消費は緩やかな回復にとどまっており、厳しい経営環境で推移いたしました。

このような状況の中、当社グループは、『強い国内事業の実現』と『新事業の確立』をテーマとした第11次中期経営計画の最終年度をスタートさせ、第一に「営業基盤の拡充と市場開拓」、第二に「商品の研究開発と技術開発およびマーケティング力の強化」、第三に「全社供給体制の強化と効率化」、第四に「品質管理の強化」、第五に「利益構造の改善」、第六に「経営品質・企業価値の向上」を重点施策とした取り組みを展開してまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、9,720百万円（前年同四半期比9.9%減少）となり、前年同四半期実績を下回りました。一方、利益面につきましては、徹底的な諸経費抑制に努めてまいりましたが、売上高の低下に伴う粗利益の減少分を吸収するには至らず、営業損失は、231百万円（前年同四半期は営業損失16百万円）となりました。経常損失は、受取配当金やデリバティブの時価評価損などにより、214百万円（前年同四半期は経常損失42百万円）となり、親会社株主に帰属する四半期純損失は、156百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失46百万円）となりました。

報告セグメント別の経営成績は、次のとおりであります。

①業務用食品等

販売面におきましては、新型コロナウイルス感染症が継続する厳しい経営環境の中、スーパーマーケットを中心とした中食業態への可能な限りの提案・販売促進活動を展開し、売上高の減少を最小限にとどめる努力をおこなってまいりました。しかしながら、商談機会の減少や、展示会を始めとした販売促進活動の自粛の影響は大きく、前年同四半期実績を下回る結果となりました。また、外食・仕出し・給食業態を始め、輸出・海外子会社の売上は大きく低下いたしました。

生産面におきましては、鶏卵、椎茸などの当社主要原材料価格が安定して推移したことに加え、省エネ活動や、生産技術力の向上による歩留まり率の改善などの原価低減活動をおこなったものの、自社製造製品の売上高減少によって固定費率が高止まりした結果、製造原価率は前年同四半期を上回りました。

他方、新型コロナウイルス感染症の影響による出張機会の減少や経費執行の抑制などにより、販売費は大きく減少いたしました。

これらの結果、外部顧客への売上高は、8,457百万円（前年同四半期比12.3%減少）となり、セグメント利益（営業利益）は、95百万円（前年同四半期比75.4%減少）にとどまりました。

②ヘルスフード

菊芋とブレンドした新製品の菊芋ごぼう茶の売れ行きが好調なことに加え、テレビCMや、紙媒体、電子媒体などで販売促進・広告活動を積極的に行った結果、定期顧客数が10万人を超え、通信販売の売上は前年同四半期を上回る結果となりました。また、ドラッグストアなどでの市販品の売上も、新規開拓やインスタプロモーションの強化を行った結果、新製品の導入効果も加わり前年同四半期を上回ることができました。

これらの結果、外部顧客への売上高は、1,102百万円（前年同四半期比11.5%増加）となり、セグメント利益（営業利益）は、107百万円（前年同四半期比92.4%増加）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ125百万円減少し、23,980百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ123百万円減少し、10,822百万円となりました。主な増減要因は、その他に含まれる前払費用の増加101百万円、原材料及び貯蔵品の増加68百万円、商品及び製品の増加54百万円、受取手形及び売掛金の減少247百万円、現金及び預金の減少85百万円などです。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ2百万円減少し、13,158百万円となりました。これは、減価償却の進行に伴い有形固定資産が減少したものの、投資その他の資産において、株価の上昇に伴い投資有価証券が増加したことに加え、繰延税金資産が増加したためです。

(負債)

負債合計は、前連結会計年度末に比べ119百万円増加し、11,573百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ332百万円増加し、10,035百万円となりました。主な増減要因は、賞与引当金の増加306百万円、支払手形及び買掛金の増加82百万円、その他に含まれる未払消費税等の増加45百万円、短期借入金の増加30百万円、未払法人税等の減少75百万円、その他に含まれる設備等支払手形の減少50百万円などです。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ213百万円減少し、1,538百万円となりました。主な増減要因は、約定返済に伴う長期借入金の減少181百万円、長期未払金の減少50百万円などです。

なお、当第1四半期連結会計期間末の借入金残高は、前連結会計年度末に比べ150百万円減少し、6,375百万円となっております。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ244百万円減少し、12,407百万円となりました。主な増減要因は、その他有価証券評価差額金の増加60百万円、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上による減少156百万円、剰余金の配当による減少114百万円、為替換算調整勘定の減少32百万円などです。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末に比べ0.8ポイント減少し、51.7%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症の拡大により、当社グループに与える影響を見通しづらいたったことから業績予想を未定としておりましたが、現時点で入手可能な情報から得られた判断に基づき算定した業績予想を公表いたします。

詳細につきましては、本日(2020年8月3日)公表いたしました「業績予想に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,909,341	1,824,189
受取手形及び売掛金	4,905,054	4,657,808
商品及び製品	2,407,433	2,461,554
仕掛品	34,880	30,994
原材料及び貯蔵品	1,331,788	1,400,109
その他	377,416	461,111
貸倒引当金	△20,662	△13,557
流動資産合計	10,945,252	10,822,210
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,069,947	4,013,756
機械装置及び運搬具(純額)	2,553,341	2,452,649
土地	3,789,987	3,789,300
リース資産(純額)	117,716	146,114
その他(純額)	548,526	523,599
有形固定資産合計	11,079,519	10,925,421
無形固定資産		
ソフトウェア	243,072	257,821
リース資産	19,351	17,261
のれん	65,819	61,705
その他	2,780	2,687
無形固定資産合計	331,024	339,476
投資その他の資産		
投資有価証券	629,565	719,388
長期前払費用	1,031	986
繰延税金資産	107,667	152,326
退職給付に係る資産	196,885	209,419
その他	893,010	889,732
貸倒引当金	△77,238	△78,143
投資その他の資産合計	1,750,921	1,893,709
固定資産合計	13,161,465	13,158,607
資産合計	24,106,718	23,980,818

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,623,711	2,706,335
短期借入金	5,127,552	5,157,778
リース債務	58,415	64,748
未払法人税等	114,363	38,888
賞与引当金	328,400	634,500
役員賞与引当金	41,290	52,511
その他	1,409,264	1,380,413
流動負債合計	9,702,998	10,035,175
固定負債		
長期借入金	1,399,305	1,218,192
長期未払金	180,254	130,254
リース債務	95,375	116,989
資産除去債務	53,670	53,718
繰延税金負債	21,447	17,808
その他	1,500	1,500
固定負債合計	1,751,551	1,538,462
負債合計	11,454,549	11,573,637
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,102,250	1,102,250
資本剰余金	1,098,990	1,098,990
利益剰余金	10,306,948	10,036,561
自己株式	△64,426	△64,426
株主資本合計	12,443,761	12,173,375
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	83,611	143,825
繰延ヘッジ損益	5,733	3,450
為替換算調整勘定	119,060	86,528
その他の包括利益累計額合計	208,406	233,805
純資産合計	12,652,168	12,407,180
負債純資産合計	24,106,718	23,980,818

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
売上高	10,792,760	9,720,189
売上原価	7,922,046	7,204,168
売上総利益	2,870,714	2,516,021
販売費及び一般管理費	2,886,951	2,747,083
営業損失(△)	△16,237	△231,061
営業外収益		
受取利息	1,744	1,120
受取配当金	12,134	11,359
持分法による投資利益	13,014	9,772
為替差益	15,689	8,070
その他	9,923	12,904
営業外収益合計	52,506	43,229
営業外費用		
支払利息	9,084	8,794
長期為替予約評価損	50,371	8,132
その他	18,886	9,263
営業外費用合計	78,342	26,190
経常損失(△)	△42,073	△214,022
特別利益		
固定資産売却益	518	8,957
特別利益合計	518	8,957
特別損失		
固定資産除却損	2,256	1,150
特別損失合計	2,256	1,150
税金等調整前四半期純損失(△)	△43,810	△206,216
法人税、住民税及び事業税	78,066	24,178
法人税等調整額	△75,658	△74,172
法人税等合計	2,408	△49,994
四半期純損失(△)	△46,219	△156,222
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△46,219	△156,222

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純損失(△)	△46,219	△156,222
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△52,687	60,213
繰延ヘッジ損益	△4,357	△2,282
為替換算調整勘定	27,921	△25,127
持分法適用会社に対する持分相当額	7,763	△7,405
その他の包括利益合計	△21,358	25,398
四半期包括利益	△67,577	△130,823
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△67,577	△130,823
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2019年4月1日 至2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	業務用 食品等	ヘルス フード	計				
売上高							
(1) 外部顧客への売上高	9,643,245	988,733	10,631,978	160,781	10,792,760	—	10,792,760
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	123,014	123,014	△123,014	—
計	9,643,245	988,733	10,631,978	283,796	10,915,774	△123,014	10,792,760
セグメント利益 又は損失(△)	390,553	55,940	446,494	△531	445,962	△462,200	△16,237

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、その主なものは運輸業であります。

2. セグメント利益又は損失の調整額△462,200千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△481,911千円及びたな卸資産の調整額19,663千円が含まれております。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自2020年4月1日 至2020年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	業務用 食品等	ヘルス フード	計				
売上高							
(1) 外部顧客への売上高	8,457,157	1,102,685	9,559,843	160,345	9,720,189	—	9,720,189
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	116,381	116,381	△116,381	—
計	8,457,157	1,102,685	9,559,843	276,727	9,836,571	△116,381	9,720,189
セグメント利益	95,942	107,629	203,571	2,335	205,907	△436,968	△231,061

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、その主なものは運輸業であります。
2. セグメント利益の調整額△436,968千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△427,881千円及びたな卸資産の調整額△8,077千円が含まれております。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。